

（午後3時10分 再開）

○議長（石橋英和君）休憩前に引き続き、会議を開きます。

日程に従い、一般質問を行います。

順番12、16番 堀内君。

〔16番（堀内和久君）登壇〕

○16番（堀内和久君）皆さん、こんにちは。今議会、皆さん等々、何か述べられているんで、何も考えてなかったんですけども、私も何とか1年生議員でここまでやってこれました。職員の皆さまのおかげだと思っております。代表して、副市長にお礼を申し上げたいと思います。最後に質問の答えをお聞きしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

まずもって、賞味期限が近づいてくるにあたりまして、本当に4年というのは早かったと、皆さん、思っていると思うんです。僕もものすごく一瞬の出来事だったかと思っております。初心を忘れず、きょうも頑張りたいと思います。私が議員を志したきっかけというのはなんですけども、前武雄市長、テレビの特集なんかでよく出ていて、皆さんも見たことあるとかご存じだったと思うんですけど、いろんなきっかけの中の 하나가、そのテレビでございます。気さくにまちの人に接する姿もそうなんですけども、経済建設委員会でもまた武雄市に行かせていただいたんですけども、本当にフェイスブックでホームページ作成とか、蔦屋の図書館とか、皆さんご存じのとおりだと思います。本当に斬新でスピーディーな政治力に引かれております。政治モットーはTTP、徹底的にばくるらしいです。僕も同じでございます。そのときお会いでき

て、本当にしびれましたね。ドキドキしました。今は同じぐらい尊敬する平木市長のもとで、毎日お会いしてしびれております。

議長のお許しをいただきましたので、通告に従いまして一般質問を行います。項目は大きく三つでございます。

一つ目、国道370号学文路九度山間の道路灯と申し上げたらいいんでしょうか、道路灯の設置要望についてでございます。

この国道は高野街道であり、学文路・九度山の生活道路でもあり、24時間営業のコンビニ2軒の明かりがあったとしても、暗いと感じております。僕自身も感じております。市内外関係なく、暗いという意見も耳にいたします。本市の対応と見解をお聞きします。

大きな二つ目です。市内の防犯灯・街路灯・通学路灯についてでございます。

市内のそれぞれの担当部局での明かりについて、今までさまざまな議論がありました。その答えは、優先順位と必要性を考慮し、市民の安心・安全に導くものであると思います。しかし、本当に設置が必要な場所に対応できているのかどうか。各部局にお伺ひいたします。

①でございます。現在の要望の精査基準。

②が、ちょっとポイントなんですけども、市道原田小峰台線への必要性でございます。

大きい三つ目でございます。先ほどの15番議員等々の議論の中にもあったと思うんです。この議会も大分議論が行われておるんですけども、広報・PR、ホームページという言葉が、ワードがよく出るんです。そこから掲載されるだけで終わってしまうのではなくて、じゃどうするのか。外に発信して知ってただ

くんであれば、地域性もあると思うんですけども、まず大きな道から看板を見ておられて、ナビというのが存在するかもしれませんが、例えばはたごんぼというワードがさっき出たんで、はたごんぼのところへ行くやったらどうしたらええのと。地域の人であれば、この道をこう行けばいいんだよという地域性が橋本市やと思います。ほんなら、おられてもらうことに対しての看板とか、ホームページ掲載で終わるのではなくて、まず地元の間が知っていただくことが一番であって、その次に市外、県外に発信していく。市長の言われる海外にまで発信するんだというんであれば、土台がまず地元であります。その延長上で、2年前にも質問させていただいたんですけども、努力していただいているのはよく伝わっているんですけど、再度もう一回質問させていただきます。

橋本市公用車での広告・PRについて、1日に、橋本市と書いた車とコミュニティバス、何回出会うのでしょうかという質問をしたことがございます。すばらしいご答弁をいただいたと記憶しておりますが、今現在、国体以外で少し増えたかなという感じを持っております。明るく目立つ広報・PRの戦略とは感じられません。もっと子どもからお年寄りまで、本市からのメッセージを伝えたいという姿勢と、企業等からの有料広告など、前向きで柔軟な対応はできないのか。

以上でございます。明確なご答弁、よろしくお願いたします。

○議長（石橋英和君）16番 堀内君の質問項目1、国道370号の道路灯設置に関する質問に対する答弁を求めます。

建設部長。

〔建設部長（塙阪 隆君）登壇〕

○建設部長（塙阪 隆君）国道370号学文路九度山間の道路灯の設置要望についてお答えし

ます。

橋本高野橋の開通、京奈和自動車道の順次開通等に伴い、国道371号から国道370号を經由し、世界遺産の高野山へ向かう交通量が増加していると思われることから、本市としても、国道370号の安全対策が必要であると考えます。今後、管理主体である和歌山県に要望したいと考えています。

○議長（石橋英和君）16番 堀内君、再質問ありますか。

16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ありがとうございます。

建設部長におかれましては、的確なご答弁をいただきましたので、再質問がないわけにあります。せっかく時間がありますので、べたな質問なんですけど、1点だけ。

今後、国体や高野山1200年祭、九度山町の真田丸などで交通量が増えるのは明確でございます。安全性も考えて、質問の趣旨を100%、いや120%理解していただいていると思っております。あとは九度山町の建設部局との連携だけだと思います。連携して、県に強い要望としていただけるという解釈でよろしいですか。

○議長（石橋英和君）建設部長。

○建設部長（塙阪 隆君）学文路と九度山をつなぐ道路でございますので、今後、九度山町とも声をかけさせていただいて、その調整の上で要望してまいりたいと思います。

○議長（石橋英和君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）よろしくお願いたします。

一つ目、終わります。

○議長（石橋英和君）次に、質問項目2、防犯灯・街路灯・通学路灯に関する質問に対する答弁を求めます。

建設部長。

〔建設部長（塙阪 隆君）登壇〕

○建設部長（塙阪 隆君）市内防犯灯・街路灯・通学路灯の要望精査基準についてお答えします。

市内防犯灯については、地元区や自治会に設置及び管理をお願いしています。なお、平成25年10月より、地元区、自治会に対し、既設の防犯灯のLEDへの転換及びLED防犯灯の新設に対し、機器本体1基につき40%、上限4,000円とする防犯灯LED化推進補助事業を行っています。また、LEDへの転換後においても、防犯灯電気料金補助については、引き続き交付対象としています。

街路灯については、道路構造令第31条及び第34条に基づき制定された道路照明施設設置基準に準じて設置しており、具体的な設置場所としては、連続照明は主に長大な橋梁、トンネル等に、局部照明は主に信号機の設置された交差点または横断歩道、夜間の交通上、特に危険な場所等としています。

なお、通学路灯についてですが、本市では通学路灯という概念はありませんが、小・中学校の通学路において、学校の統合等特別な事情がある場合に限り、防犯対策の一環として設置を行うことにしています。

2点目の市道原田小峰台線への必要性についてですが、平成26年12月議会の2番議員のご質問に対し答弁させていただいたとおり、道路構造令に準じた考え方のもとに、必要な箇所には設置されていると考えています。

なお、今後平成28年度には、京奈和自動車道の和歌山方面（阪和自動車道接続）、奈良方面（御所南インターチェンジまで）の開通が予定されている中で、市内道路での交通量増加も想定されることから、今後の課題として、市内幹線道路全般について、特に夜間における車両及び歩行者の安全性向上に向けての再検討が必要であると考えています。

○議長（石橋英和君）16番 堀内君、再質問

ありますか。

16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ありがとうございます。

なかなか何から聞いていけばいいのかあれなんですけど、まずは精査基準として確認ですね。

防犯灯は各区の発信設置で、LEDの補助であれば4,000円、電気代が40%が、所管は総務部になろうかと思えます。街路灯に関しては、条例というか約束事を基準にして、必要な箇所に設置で、していけるところはしていくということで建設部局という解釈なんですけど、合うてますか。ちょっと確認だけ、しません。

○議長（石橋英和君）建設部長。

○建設部長（塙阪 隆君）おっしゃるとおりでございます。

○議長（石橋英和君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ありがとうございます。

そしたら、ちょっと火の粉が飛ぶんですけど、教育部局に、もしお答えできれば結構です。建設部局でもどちらでも結構です。通学路灯というのは存在しないというか、どういう位置づけなんか非常にグレーというか難しい。いろんな明かりを照らす機械というのは、結局同じ機械であって、部局が変わるだけで呼び方が変わるのかなと、僕はそんなふうに思うんですけども、通学路灯は教育関係の部局で、小・中学校の通学路の設定において、安全性を考慮して要望に応じるのかなと、私はそういうふうに考えていたんですけども、そういった考え方というのは合うてるのか間違ってるのかという聞き方もおかしいんですけど、それでよろしいでしょうかね。

○議長（石橋英和君）教育次長。

○教育次長（坂本安弘君）お答えをいたします。

先ほど建設部長のほうから答弁をさせてい

ただいたとおり、通学路灯という概念、通学路灯の整備事業という形が、今まではなかったということでございます。

ただ、高野口中学校もそうですし、今回、橋本中学校に新しい中学校3校を統合して新しい中学校をつくっていくという中で、今までになかった新たな通学路が発生してまいります。例えば西部のほうから橋本中学校へ来ていただく、いわゆる西部中学校の校区外へ通学するということになりますので、そうした新しい通学路が発生することになります。そうした場合に、呼び方は通学路という呼び方をさせていただいておりますけれども、あくまでも通学途上における防犯対策、安全対策として、教育委員会のほうで通学路灯ということで整備をさせていただく。それ以外は、通学路といいますと、市内のほとんどの道が通学路として、各学校において指定されてございますので、通学路にありましても、あくまでも街路灯であり、防犯灯であると、教育委員会としては考えてございます。

○議長（石橋英和君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ありがとうございます。

統廃合とかいろんな事情、理由があれば、すつつくのかなと思うんですけども、小・中学生、教育を受ける未成年者も大切な市民でございますので、通学時間帯もありますし、安全を考慮して、できるだけ真っ暗なところを歩かせてはいけないという認識というのは、僕はすごく重要性を感じるんですけども、今のご答弁でしたら、ちょっと何でもかんでもつけれという要望に対してつけるというのは間違っていると思います。やはり精査して、ここは重要性であるというところに対して、つけることを検討課題にのせて、教育部局、建設部局、総務部局で議論していただく。その延長上に、その道に子どもが暗い時間帯に歩いているんでよという感じで僕は思ってお

ります。思っておる観点を押しつけるようなことを言うて悪いんですけども、その方向性で次をお聞きするんですけども、原田小峰台線ですが、前12月議会で、2番議員の質問で、ずっと聞いていて大変勉強させていただきました。

いろんな場所で要望があるかもしれませんが、この市道と同じような環境の道というか、ポイントで言うて悪いんですけども、実際、橋本市内に高校、橋本高校、初芝橋本高校があるわけでございます。橋本市内に高校といっても、四つぐらいしかないと思うんです。

そんな中で、こういう環境と同じような場所というのは、ほかに重要な道というのはあるのかって、質問ではないんですよ。僕は知らないです。これだけの真っ暗で大きな道で、初芝橋本高校に向いて行く人もおれば、橋本高校に向いて自転車で通っている人もいますし、県立体育館等々もはたにございます。テニスコート、陸上競技場、夜間に帰宅するっていうんですか、地元住民からも危ないよというのを、大分聞くんです。ほかの議員もそれぞれ聞いているから、過去に質問していると思うんです。

私はあそこの重要性というのは、優先順位の1番、2番になってくると思うんです。優先順位は別として、橋本高校や初芝橋本高校、運動公園がある中で、電話なんですけど、実際高校に問い合わせをしてみました。小学校、中学校のように通学路という位置づけはしていないということです。ある程度年齢も16歳から以上になれば、それなりにするのかなという僕の勝手な見解なんですけども、でも、何かあってからでは遅いですし、高校は通学路という位置づけはないにしても、通学路という認識、これだけの生徒が通っています、通っていますという認識はしているというお答えをいただきました。

高校というのは県の所管になります。市道ですから、道は市の所管になります。そんなにも踏まえて、生徒はやはり橋本市民なんで、何かあってからでは遅いので、通学路灯として、教育サイドから県に強い要望というのは、考えていただくことはできないでしょうか。お願いします。

○議長（石橋英和君）教育次長。

○教育次長（坂本安弘君）この件に関して、県教育委員会においての通学路灯の整備というところを問い合わせてはみましたが、県教育委員会として、そういった通学路灯を整備したことはないということでした。

県の教育委員会に、橋本市として高校生だけではなく、いろんな形で市内の小・中学校の生徒も、当然のことに通る可能性もあることですので、一度その辺は内部で検討させていただいた上で、できるものはさせていたどうかと思います。

○議長（石橋英和君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ありがとうございます。

なかなか難しい話だと思うんですけども、教育長も聞いていただいていますので、教育長、教育次長、県に強い要望をして、必要性というのをもっと訴えていただきたいと、私は思っております。

教育部局より街灯と考えていたんですけど、建設部長に次、お伺いします。

夜間の安全性の向上のための再度検討ということで、さっきちょっと言うていただいたなど、ちょっと前向いて解釈してくれたかなと思うんですけど、歴代の質問された方、この道が暗いよという指摘をされた方々、議員、区長、それぞれ住民の方がおると思うんですけど、熱意と危険性を重く感じてくれた。市当局は、その要望を重きに置いてくれたという解釈を僕はしてんですけど、そこら辺はいかがでしょうか。

○議長（石橋英和君）建設部長。

○建設部長（塙阪 隆君）過去においても、これまではいろいろこの照明についてはご意見をいただいていたわけですが、それとあわせて、先ほども答弁で申し上げましたけども、今後、京奈和自動車道の開通によって交通量が増えてくるという可能性がございますので、そうしたことによりまして、また道路のほうの安全性、特に夜間の安全性といったところも危惧されてございますので、そういう状況を見ながら、設置についての検討をしていきたいということでございます。

○議長（石橋英和君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ありがとうございます。

県の教育部局にお願いするもよし、建設部局で重きに思っていたらつけてもらうもよし、要はあそこが通学路、通学路という言葉はあれなんですけど、歩く人たちの安心・安全を導いてくれるのであれば、僕はそれで結構なんで、強く要望しますということで、二つ目の質問を終わらせていただきます。お願いします。

○議長（石橋英和君）次に、質問項目3、公用車での広告・PRに関する質問に対する答弁を求めます。

企画部長。

〔企画部長（北山茂樹君）登壇〕

○企画部長（北山茂樹君）橋本市公用車での広告・PRについてお答えします。

このことについては、平成25年3月議会一般質問での議員からのご提案に対し、本市の施策やイメージの向上、魅力などの情報発信に効率的で有効な広報・PR手段であると判断し、平成25年4月から、公用車にマグネットシートを添付しました。平成25年度の実績は、10課15種類、322枚を延べ216台の公用車に掲示しました。本年度は、現時点で9課11

種類、292枚延べ217台の公用車に掲示しています。

掲示内容については、紀州へら竿の伝統工芸品指定や市ホームページリニューアルのPR、黒河道の世界遺産登録の推進、人権啓発や振り込め詐欺予防などの消費生活関連の啓発、国体やマスコットキャラクターはしぼうのPR、特定健診、がん検診、火災予防のPRなどです。最近では、「ガンバレ！のまち橋本市」のPRステッカーを35台の公用車に添付しました。

これらの効果については、「広報はしもと」や市ホームページなどでも情報発信している内容ではありますが、公用車に掲示することで、PR、啓発効果はより一層の広がりをもたらすと考えています。

議員おただしの明るく目立つ広報・PR戦略とは感じられず、子どもからお年寄りまで伝わる柔軟な対応はできないのかとのご指摘については、本市のキャッチフレーズ「ガンバレ！のまち橋本市」、市マスコットキャラクターはしぼう、市制10周年記念ロゴマークなどを用いた基本デザインを、今後若手職員から提案してもらい、さらに各所管の施策、啓発内容を書き込みできるフォーマットを作成してまいりたいと思います。

そのことによって、より宣伝効果が上がり、市民の皆さまに親しみと市政への関心が深まる広報・PRをめざしていきたいと考えています。

○議長（石橋英和君）総務部長。

〔総務部長（柘谷俊介君）登壇〕

○総務部長（柘谷俊介君）コミュニティバスへの有料広告掲載について、車内広告を募集している和泉市、泉佐野市、泉南市等に関い合わせを行ったところ、いずれも年に1～2件の問い合わせはあるものの、応募がない状態が続いているとのことです。

また、車両広告を募集しているさぬき市では、広告会社に委託して実施しており、車両全体のラッピング広告では成果が上がっているようです。相模原市では、マグネット等による車両広告の募集を市独自で行っており、一定の応募はあるものの、広告主募集にかなりの営業努力が必要であり、広告募集のための人件費とマグネット等のデザインや制作費用を考えると、あまり効果が期待できないとのことでした。

本市のコミュニティバスについては、車両全体のラッピングは車両の印象が全く変わり、バスのデザインを損なうことから考えていません。また、マグネット等による広告については、今後、費用対効果を含め、先進地の事例を研究してまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

○議長（石橋英和君）16番 堀内君、再質問ありますか。

16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ありがとうございます。

大変前向きなご答弁だと思っております。ただ、2年前も大変ありがたいご答弁をいただいたんです。前副市長ですかね、初めてありがとうございますって言われたんですね、僕。ちょっと読んでみますね、時間はたっぷりあるんで。最後に副市長っていう答弁のときの話です。

堀内議員からご提案いただいた内容というのは、本当にすごい当たり前のようで、誰でも提案できるような内容であるのに、言われるまで気がもう一つつかなかったという部分ですが、すごくいいご提案をいただいたと思っておりますので、それぞれの所属で自分のところのPRをしたいものというのは必ず持っておりますので、いい形でそれを実現させていきたいというふうに考えております。ありがとうございますって言ってくれたんです

ね。初めて言ってくれました。うれしかったんですよ、これ。初めてええ感じになったんですよ。

そのときもええ答弁をいただいたんで、きょうもいい答弁をいただいたんで、きつといい方向には行くと思うんですけど、ただ、議場でええ答弁やなでは終わってしまうんで、きょう、議場の後ろにおられる課長方、部署に戻られたら課長補佐、係長発信で、その次に僕が最後に言うたんですよ。若い20代、30代の職員のほうが、見ている観点というのは結構いいところを見ていると思うんで、部課長と意見を足して2で割って、うまいことやっけていってくれたらうれしいですなという答えをして終わったんです。当時、井上議長でしたね、はい。

終わったんですけど、なかなか努力はしていただいているのは、大変ありがたいと思います。でも、僕だけでしょうか。ちょっと暗いなあと思って、最後の一般質問ですし、最後になるかどうかかわからないですけど、もう一回聞いとうとういう気持ちになったんで、今回の質問をさせていただきました。もうちょっと明るく、楽しくってほしいなという前向きな、お互い前向きにいとるというので、お話をちょっとさせていただきます。

各課におかれては、徐々に作成してくれているとのことですが、公用車のマグネットシールで、自分の課はこれはすばらしいと自慢できるデザインや情報発信できているというのは、果たしてあるのかなと、ちょっと思います。

いいことをしてくれているのは、わかっているんです。少し残念なのは、安く手作業でやろうじゃないか。本市のホームページにアクセスさせよう。市民に早く伝えようという2年前の発想で、2代前の企画部長、副市長の答弁もいただきましたけども、まだまだ車

のスペースがあいておりますし、目立つとは言えませんし、もっと改善とスピーディーな進展というか、そういうのをお願いと、そういうを感じるんですけども、いかがでしょうか。

○議長（石橋英和君）企画部長。

○企画部長（北山茂樹君）2年間、公用車にマグネットシートをつけたPRを実施してきましたところ、長期間張りつけますと、細かな傷がもとで、車のボディがさびるということがわかってまいりました。このことから、車体のさびを防止するために、マグネットシートはまず1カ月の期間とさせていただきます、その後、まだ期間が必要とするのであれば、再申請をしていただくというような手続きに変えさせていただきます。このような仕組みに変えたことが原因かどうかはわかりませんが、若干マグネットシートの張る回数も減少したということで、私どもは分析をしているところでございます。

この検証した結果をもとに、今後添付期間を1カ月だけじゃなしに、もう少し延長させていただきます。そのことによって、もう少し回数も増えると思います。

それから、PRの内容につきましては、火災予防週間、選挙啓発、それから人権推進月間など、割と比較的短い期間でのPRっていうのも結構ございます。そんなことから、件数の割に、割と公用車の張るところがあいているんじゃないかということに感じられるわけですが、その辺ももっと積極的に、各課のほうにいろんな催しとかいろんな事業をマグネットシートに張りつけていただいて、PRをしていただくよう通知してまいりたいと思っております。

○議長（石橋英和君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ありがとうございます。

僕もつくったんです。2年前に質問すると

きに、自分で、二つで1,500円。たしか当時経済部長が商工観光課長のときに、僕がお願いして、一番最初につくってくれたのが、たしか商工観光課長の経済部長やったと僕は記憶しております。たしかそのときは、ヘラブナの何かやったと僕は記憶しておるんですけど、それもうれしくて、記念に僕も写真を撮っているんですけども、あれはなかなかずつついているなというイメージがあります。

僕も同じようなのをつくったんですけど、ちょっと横道それで悪いんですけど、僕、軽トラにごんぼとかあいう農業系のマグネットシートをつくって、あと市民安全パトロールというのをまた買ってきて、結構張りまくって走ってるんですけど、僕の軽トラは結構ぼろいんですけど、それを張ることによってさびてくるっていうのは、僕の軽トラはないんですけど、やっぱりメーカーによって鉄の種類でも違うんでしょうか。そんなこともひとり言として聞いていただけたらと思います。

できるだけ前向きなことを企画部長は思っているんで、微々たる予算で、同じ作成をするのであれば、今以上明るく目立つ内容であると同時に、フォーマット作成や若手職員も提案を進めてくれているのであれば、例えば採用された作品に対して、年に1度、若い職員がこんなええのんつくったんやと思ったら、条例とかそんなんでルールがいけるんかどうかわからないんですけど、民間であれば金一封とかあったらええんやけども、ここは公務員の場合、そういうことは絶対だめですので、市長から表彰状をやったるとか、例えばですよ。本当に例えばなんで、例えばのついでで言うたら、簡単なものであれば、小学校の図工の時間というんですか、例えばきょうはようはたごんぼというワードを出してくれるんで僕も出しますけど、ごんぼの絵を描いてもうて、それをマグネットシートにし

ていただくなんていうような企画というのは、やっていただけますでしょうか。

○議長（石橋英和君）企画部長。

○企画部長（北山茂樹君）1回目の答弁でも申し上げましたとおり、やっぱり基本デザインを、若手職員はいろんな発想を持っていますので、若手職員のほうから提案していただきたいと考えてございます。

その提案されたマグネットシートを、今議員がご提案された表彰とかっていうことのお話なんですけども、職員の提案制度というのがあるんですけど、職員の提案制度に準じた形で、採択されたものを表彰するというのも、方法もあるんですけども、より職員のやる気、それから課の取り組みへのやる気を出してもらうために、一つの提案として、これは私の提案になるんですけど、年度末にその年のマグネットシートを集めまして、庁内でコンテストをやってはどうかなど。そのコンテストを審査して、市長、副市長、教育長のポケットマネーを出してもうてと言いたいですけども、市長は政治家の寄附行為にあたりますんで、副市長、教育長のほうからいろいろ相談させていただいて、そういうこともやっぱり考えていったら、ちょっと職員のやる気が出てくるのかなど。そういうことで、それも個人に表彰するんじゃなしに、課単位で表彰するということが一番いいかなと思っております、そういうこともちょっと検討させていただきたいなと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○議長（石橋英和君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ありがとうございます。すばらしい提案でございます。そのときはぜひ、僕、いてたら審査員に入れていただきたいと思います。

ちょっと答弁もれというたらあれなんですけど、教育サイド、もし答えれたらでいいで



す。前もってわかっている絵であれば、それを小学生に描いてもらうとかというのは、教育長、いけるんですかね。どうぞお願いします。

○議長（石橋英和君）教育長。

○教育長（小林俊治君）この議会でも随分出ていますけれども、やっぱりふるさと学習っていうんですか、ふるさとを知るとかということと言うと、また発言させていただきますが、はたごんぼなんかは、非常に大事なもんだと思っています。例えば学文路小学校なり、学文路中学校なり、それから恋野小学校にはマッシュルームもございますし、へら釣りの、これは学文路のほうも大事ですんで、それは学校と相談させていただいて、これについても賞状等を出せたらなと思っております。

○議長（石橋英和君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ありがとうございます。珍しく明るく前向きな議論になっております。私、大変うれしく思っております。

個人的な見解なんですけど、まず必要なのは知っていただくということを、まず根元から、足元を固めてから外に発信するということが、まずどの分野でも一番大事だと思います。2年前に答弁いただいて、その割にはちょっと寂しかったなということで、僕、思ってたんです。

ほんで、例えば選挙管理委員会、動画を皆さんご存じですかね。僕、携帯で見たんですけど、衆議院選挙へ行きましようみたいな動画とか、あと教育委員会の黒河道へという何かマグネットシートと同じような柄を、雑事のぼりしたときに旗でやってくれたりとか、ああいうことっていうのはすごくありがたい、うれしいんです。

先ほども15番議員の発想で、市長が例えばこれを着てとかという話があったと思うんですけど、僕自身ははたごんぼポロシャツなん

か、国体ポロシャツに対抗してつくって、ゴボウのレシピを背中に書いて、1回着てみようかなとか、そんなのも実際つくっているんです。まだちょっと季節柄着れないですけども。そういうのもいろんな広告塔であるというのが、一番大事なことだと思います。

そして、その次に大事なのは、そういうのをつくっているということに対して、職員が聞きに行くということです。例えば僕も選挙に行つて聞かせてもらったんですけど、これ、どうやってつくったんですかとか、教育局に対しては、その旗は僕もほしいんやけどとか、そういうことを、横の連携と縦の連携で柔軟にできているのかということが、思うことでございますので、そこら辺はよろしくお願ひしたいと思ひます。

あと行政内の縦横も大事ですし、親しみと伝わり度を組み込んだ広告の公用車であるべきと考えるんですけども、同じことを何回も聞くんですけども、今後の展開というか、こういうふうにやっていくんだというようなことを、企画部長に再度述べていただけたらもう一つうれしいんですけど、お願ひいたします。

すいません。もう結構です。いい答弁をくれ過ぎていふので、なかなか同じことを聞いてしまうんですね。頭が悪いんで申しわけないです。

ほんだら、ちょっと話を移します。総務部長、行きますよ。

有料広告についてですけども、前回質問時では、現副市長が総務部長を務められておられまして、ちょっとサツキが隠れるとかいうお話があったと思うんです。範囲内で進めていきたいという前向きなお答えでした。

今回のご答弁でしたら、他市の状況を見て検討していくと、総務課におかれましては、お金も絡むことですので、費用対効果等も考

えて慎重にお願いいたしますということで、強く言うていくつもりはございません。

バスも本市の持ち物ですから、有料広告にこだわらず、公用車と同じ立ち位置で、乗車率は別として、一定のコースをほとんど毎日走るんですから、何か市民へのメッセージ等を伝えていただきたいと考えますけども、総務部長の見解はいかがでしょうか。

○議長（石橋英和君）総務部長。

○総務部長（柘谷俊介君）副市長が、前回大変いい答えをしてあるものですから、私はちょっと述べにくいんですけども、毎日走るのだから、何か市民へメッセージを伝えてはとのご提案でございますけども、毎日走るのだからいいメッセージを伝えられるのではないかと、良いご提案だと感じております。

お年寄りや、感覚でコミバスを把握しておりますので、あんまり大きなもので車両の印象が変わるっていうことは避けたいんですけども、いつもバスの一定の目立つ場所に市のメッセージがあって、それで市が今何を考えていくのか、何をしようとしているのかがわかるというのは、コミバスの乗降客のみならず、市民全体へのメッセージの発信となりますので、おっしゃられたように、費用対効果を含め、検討してまいりたいと思います。

○議長（石橋英和君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ありがとうございます。

有料広告等というのは、いろんな条件とかも重なってくると思うんで、とりあえずは無料の広告というか公用車の延長上で、そういうふうに前向きに考えていただきたいと強く思っております。ありがとうございます。

で、最後です。副市長、以前、私個人的なあれなんですけど、伊賀市に私用で行ったときに、ワゴン車というかバスに、伊賀市は忍者が乗っていたんですね。すごい目立つなと。あれ何やろと思って検索したんです。それが

戦略やと思うんです。ちょっと話はそれるんですけど、九度山町長なんか、普通のスーツの袖が三つなんですけど、六つついとるんですよ。あれ、多分真田の何かかなって連想させるんですね。こないだ、僕、広域の会議で行ったときに、たまたま遠くから見ていて、あ、ボタン、この人は六つついているわとか、そういうことが戦略やと思うんです。

そういうのを踏まえた上で、インパクトをすごい感じるもんであります。いいと感じたもんは、TTPですか徹底的にばくろをモットーに、だめなものは速やかにやめる。これも改革でありますので、今後の公用車、コミュニティバスを見守っていきたいと思います。本市は、今後伝えたいこと、たくさんあると思います。ご提案なんですけども、4月から中学校医療なんか無償になりますよね。こういうことを、もうそろそろバスに張ってもいいんじゃないかなと、市長がせっかく中学校医療を無償にしてくれたんですから。そういったことというのは、各課で多々あると思います。隠れていると思います。それを、部長方が下におろしていただいて、横の連携をとっていただいてやっていきたい。

提案なんですけど、さっきバスの話が出たんで、1提案なんで、だめなら却下していただいたらいいんですけども、A3のマグネットシートでつくるわけでございますけども、今回はたごんぼですね。プレミアム和歌山で特賞をいただきまして、これは地域ブランド橋本のはたごんぼだよと外へ打っていくわけでございますけども、打てば響くということで、はたごんぼの等身大以上のA3のやつで四つぐらいつなげて、大きい橋本市の公用車、バス、マイクロバス、何でも結構です。1回やってみたいと思うんですけど、副市長の見解はいかがですか。

○議長（石橋英和君）副市長。

○副市長（森川嘉久君）忍者の話も出たわけでございますけども、私もテレビでちょっと見させていただいたんですけども、何か忍者姿で業務をしておる絵が出てまして、インパクトはあるのかなという話もちょっと感じました。

それから、この間からそういうイメージ戦略という意味では、マスコットのはしぼうをつくらせていただいて、積極的に売り出しておるところでございますけども、昨日も一般質問でもお話があったんですけど、頑張れの日もございます。頑張れの日とかガンバレのまち橋本市というの、はしぼうにあわせてやっております、私も名刺のほうにその図柄とガンバレのまち橋本市というのを入れて、今、市長も同じような図柄の名刺で売り出しておるんですけども、たまたまこの間も出張で行かせていただいたときに、それを出しますと、あ、こういうことなんですねと、いろいろと反応がありました。いろんな機会を通じて売り出していくというのは大事なことかなと思っておりますし、今度はしもとブランド推進室もできますんで、もうちょっとそのあたりでネタがいろいろ増えてきますので、それを積極的に、車のほうへもマグネットシートで、せっかく議員にもいいアイデアをいただきましたんで、それをやっていきたいなと思っております。

ただ、今のゴボウについては、これはもうやっていきたい。ちょうどプレミア和歌山のいい時期でございますんで、それについては積極的にやっていきたいと思っておるんですけど、どれぐらいの大きさでというところがあるんですけど、先ほどご紹介いただきましたように、私、当時コミュニティバスの担当の総務部長をやっております、議員のほうから冒頭でもありがとうございますって、復唱でお礼をいただいたんですけど、その後

あんまりできていないという状況でございますけども、担当者といましては、あのきれいなバスの絵柄を、当分の間はあのままで走らせたいというのがございまして、ちょっとできていなかったんですけども、大分バスのほうもたってきましたので、一度総務部長の、先ほどからの答弁ではあまりいい答弁にはなっていないんですけども、何らかの形で、どのくらい大きさというのは、今言われた大きさでできるんかどうかも含めまして、検討させていただきたいと思っておりますけども、はたごんぼについては積極的にPRをさせていただく話なんかと思っておりますし、中学生医療の無償化の件でございますけど、ちょっと教育長に怒られるかわかりませんが、今度統合で通学バスを走らす予定もございまして、そのあたりへ張らせていただきますと、中学生の方にも認識していただける機会が増えるのかなということは思っております。これはまた、今、私のひとり言でございますんで、教育委員会と十分話をさせていただきたいと思っております。

あんまりすぐさせていただきますというご答弁ではなかったんで、申しわけございませんけども、以上のところでございます。

○議長（石橋英和君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ありがとうございます。

要は、この質問をする趣旨というのは、僕は今回難しいことを言うてるわけでもございませんし、大きな予算がかかることでもございませんし、ちょっと身近にあることに気づく、気づかないのレベル、そのきめ細かいところ、大きな質問ではございませんので、しかし、議場におられる職員の皆さんは、みなすごい方でございますので、日ごろすごい課題と向き合っておる中で、こういう細かいところに気づくのかなとか、そういったレベルの話ですので、質問の趣旨自体は低いレベル

のことではございますけども、そういったところも目を向けてくれるような優しい職員であっていただきたいと思います。

いつもながら、質問にあたりお世話をいただいた職員さまに感謝申し上げて、一般質問

を終わらせていただきます。

○議長（石橋英和君）16番 堀内君の一般質問は終わりました。

あと一頑張りお願いいたします。